

平成27年4月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年9月8日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社トーシン
 コード番号 9444 URL <http://www.toshin-group.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長
 四半期報告書提出予定日 平成26年9月12日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 石田 信文
 (氏名) 江本 健一

TEL 052-212-5000

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年4月期第1四半期の連結業績(平成26年5月1日～平成26年7月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年4月期第1四半期	4,826	△23.0	83	△51.3	65	△60.1	38	△59.7
26年4月期第1四半期	6,268	7.2	171	△20.0	164	△21.1	96	△16.5

(注) 包括利益 27年4月期第1四半期 41百万円 (△56.5%) 26年4月期第1四半期 96百万円 (△16.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年4月期第1四半期	6.11	—
26年4月期第1四半期	15.18	—

(注) 当社は、平成25年11月1日付けで普通株式1株につき普通株式10株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益を算出しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年4月期第1四半期	14,711	3,293	22.3	518.03
26年4月期	15,711	3,310	21.0	521.39

(参考) 自己資本 27年4月期第1四半期 3,275百万円 26年4月期 3,297百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年4月期	—	100.00	—	10.00	110.00
27年4月期	—	—	—	—	—
27年4月期(予想)	—	10.00	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無
 平成25年11月1日を効力発生日として、1株につき10株の割合で株式分割を行った影響を考慮しております。

3. 平成27年4月期の連結業績予想(平成26年5月1日～平成27年4月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	10,519	△19.0	133	△13.3	107	△12.6	67	18.5	10.71
通期	22,051	△18.9	546	△6.5	503	△4.6	316	△3.6	49.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年4月期1Q	6,388,740 株	26年4月期	6,388,740 株
② 期末自己株式数	27年4月期1Q	64,970 株	26年4月期	64,260 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年4月期1Q	6,324,158 株	26年4月期1Q	6,327,110 株

当社は、平成25年11月1日付けで普通株式1株につき普通株式10株の割合で株式分割を行っております。
これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当り四半期純利益を算出しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本業績に記載されている業績見通し等将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性情報(3)連結業績予想に関する定性情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による金融緩和政策などの経済対策による円安傾向、株価の回復傾向が鮮明になり、企業収益の回復や個人消費の持ち直し傾向が見られるようになりました。しかしながら、消費税率の引き上げによる景気への影響、世界経済の減速、新興国の成長鈍化などの先行き不透明感は依然継続しております。

このような経済状況のもと、当社は、一般社団法人日本ゴルフツアー機構（JGTO）レギュラーツアーを開催し、当社及び当社グループゴルフコースの知名度アップを図っております。また、移動体通信関連事業の販売基盤の整備・店舗運営の効率化、不動産事業の安定収益の確保、リゾート事業の収益基盤の強化等に努めてまいりました。

当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高48億26百万円（前年同期比23.0%減）、営業利益83百万円（前年同期比51.3%減）、経常利益65百万円（前年同期比60.1%減）、四半期純利益38百万円（前年同期比59.7%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(移動体通信関連事業)

携帯電話業界におきましては、携帯電話の加入件数が平成26年6月末現在で1億4,106万台に達しました（「電気通信事業者協会」より）。中でもスマートフォンやタブレット端末は急速に普及しており、端末・ネットワークでの通信事業者間の差別化が困難になるなど顧客獲得をめぐる競争は激化しております。

このような環境の中、当社グループは、店舗近隣への営業活動による集客力の強化を行ってまいりました。その結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は43億88百万円（前年同期比24.0%減）、セグメント利益は89百万円（前年同期比56.6%減）となりました。

(不動産事業)

不動産事業におきましては、景気の回復基調を背景に地価上昇の動きなどの改善傾向が見られ、不動産市況は底堅く推移しております。しかしながら、消費税増税後の停滞の可能性もあり、依然予断を許さない経営環境は続いております。当社グループにおきましては、市場の変化を敏感に読み取りながら、的確な対応を進めております。

当第1四半期連結累計期間における売上高は61百万円（前年同期比8.2%減）、セグメント利益は41百万円（前年同期比1.0%減）となりました。

(リゾート事業)

ゴルフ業界は、若手からベテランに至るまで幅広いプロゴルファーの活躍により、ゴルフ人気が幅広く波及しており、ゴルフが世代を超え老若男女に親しみやすいスポーツとして捉えられるようになっております。

このような環境の中、ゴルフコースの品質維持・サービス向上に努め、ゴルファーの快適なプレー環境をサポートし、集客力の強化に努めてまいりました。

当第1四半期連結累計期間における売上高は3億68百万円（前年同期比10.3%減）、セグメント利益は69百万円（前年同期比81.6%増）となりました。

(その他)

飲料水の販売やオリジナルゴルフ用品の販売、売電等を行っております。

(2) 財政状態に関する説明

(財政状態の変動状況)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、147億11百万円となり、前連結会計年度末と比べて10億円の減少となりました。これは主に売掛金の減少によるものであります。

負債は114億18百万円となり、前連結会計年度末と比べて9億83百万円の減少となりました。これは主に、買掛金の減少によるものであります。

純資産は、32億93百万円となり、前連結会計年度末と比べて17百万円の減少となり、自己資本比率は22.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年7月22日に発表いたしました平成27年4月期の連結業績予想（第2四半期累計及び通期）に変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等
該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年4月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,258,963	3,083,876
売掛金	2,742,444	2,116,267
商品及び製品	695,479	489,853
原材料及び貯蔵品	24,059	14,672
その他	194,991	203,044
貸倒引当金	△106	△84
流動資産合計	6,915,831	5,907,629
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,635,144	2,640,041
減価償却累計額	△1,177,549	△1,200,327
建物及び構築物 (純額)	1,457,594	1,439,714
土地	6,397,205	6,417,205
その他	481,806	495,209
減価償却累計額	△210,713	△223,198
その他 (純額)	271,092	272,010
有形固定資産合計	8,125,893	8,128,930
無形固定資産	154,476	154,457
投資その他の資産		
投資その他の資産	509,148	514,446
貸倒引当金	△26	△25
投資その他の資産合計	509,122	514,420
固定資産合計	8,789,492	8,797,809
繰延資産	6,560	5,761
資産合計	15,711,884	14,711,200

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年4月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年7月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,640,548	2,020,374
短期借入金	2,850,000	2,930,000
1年内返済予定の長期借入金	919,245	901,715
1年内償還予定の社債	139,000	139,000
未払法人税等	224,054	27,028
賞与引当金	73,799	37,245
その他	762,930	798,847
流動負債合計	7,609,578	6,854,210
固定負債		
社債	332,500	332,500
長期借入金	3,988,687	3,775,325
退職給付に係る負債	13,177	15,055
資産除去債務	43,342	43,352
その他	414,178	397,700
固定負債合計	4,791,885	4,563,932
負債合計	12,401,463	11,418,142
純資産の部		
株主資本		
資本金	693,858	693,858
資本剰余金	832,376	832,376
利益剰余金	1,739,691	1,715,147
自己株式	△45,467	△45,861
株主資本合計	3,220,458	3,195,520
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	77,095	80,392
その他の包括利益累計額合計	77,095	80,392
新株予約権	12,867	17,145
純資産合計	3,310,421	3,293,057
負債純資産合計	15,711,884	14,711,200

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年5月1日 至平成25年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年5月1日 至平成26年7月31日)
売上高	6,268,246	4,826,078
売上原価	5,281,951	4,022,944
売上総利益	986,294	803,134
販売費及び一般管理費	814,689	719,631
営業利益	171,605	83,503
営業外収益		
受取利息及び配当金	506	350
店舗開設支援金	4,728	—
ゴルフ場施設協力金	6,155	7,135
貸倒引当金戻入額	170	22
その他	10,185	6,880
営業外収益合計	21,746	14,389
営業外費用		
支払利息	28,299	29,867
その他	826	2,480
営業外費用合計	29,125	32,347
経常利益	164,225	65,544
特別利益		
固定資産売却益	596	—
投資有価証券売却益	—	5,454
特別利益合計	596	5,454
税金等調整前四半期純利益	164,822	70,999
法人税、住民税及び事業税	53,159	27,213
法人税等調整額	15,608	5,085
法人税等合計	68,768	32,298
少数株主損益調整前四半期純利益	96,053	38,700
四半期純利益	96,053	38,700

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年5月1日 至 平成25年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年5月1日 至 平成26年7月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	96,053	38,700
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	579	3,296
その他の包括利益合計	579	3,296
四半期包括利益	96,633	41,997
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	96,633	41,997
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年5月1日至平成25年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	移動体 通信関連 事業	不動産 事業	リゾート 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,778,637	66,979	411,005	6,256,623	11,623	6,268,246
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	5,778,637	66,979	411,005	6,256,623	11,623	6,268,246
セグメント利益	206,342	41,618	38,546	286,508	893	287,402

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、オリジナルグッズ用品の販売、飲料水の販売等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	286,508
「その他」の区分の利益	893
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△123,176
四半期連結損益計算書の経常利益	164,225

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費、営業外収益及び営業外費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自平成26年5月1日至平成26年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	移動体 通信関連 事業	不動産 事業	リゾート 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,388,886	61,510	368,626	4,819,022	7,056	4,826,078
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	4,388,886	61,510	368,626	4,819,022	7,056	4,826,078
セグメント利益	89,631	41,190	69,997	200,819	3,516	204,336

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、オリジナルグッズ用品の販売、飲料水の販売、太陽光売電収入等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容

(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	200,819
「その他」の区分の利益	3,516
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△138,791
四半期連結損益計算書の経常利益	65,544

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費、営業外収益及び営業外費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。